

備前市施策評価シート

(平成21年度事業)

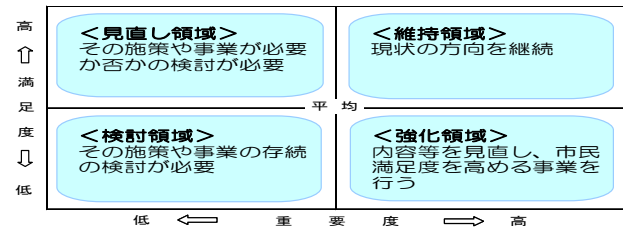
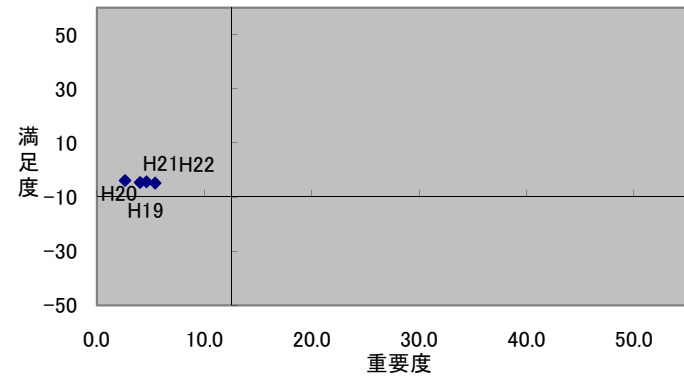
施策名 (小項目)	文化芸術の振興	コード	作成者	役職	生涯学習課長
		03-03-01	氏名	末長章彦	
			電話	64-1841	
		このシート作成に要した時間		1.0 時間	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	地域文化と人が輝くまちづくり
	基本施策(中項目)	歴史と文化の輝くまちづくり
① 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民に郷土の歴史や文化に興味や関心を持ってもらうため、企画展や講座を開催する。これにより心豊かな人間性を育む。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	コストの縮減に伴う人員配置の削減により、職員が配置されない館があるなど、企画展や講座開設が難しくなっている。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 文化・芸術活動の推進 文化施設の適正な管理運営 	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	4.0	2.6	4.6	5.4
満足度(%)	-4.6	-3.9	-4.4	-4.9



調査結果に対するコメント、市民の反応等
 [調査対象でない施策は、市民の反応等]
 市民意識調査では、世代により大きく評価が分かれています。20代などの若い世代では重要度・満足度共に高く、高齢になるに従い重要度が低くなることから、文化施設や文化イベントに参加(来訪)する機会が大きなウエイトを占めることになっている。

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H19	H20	H21		H22	H28
成果指標 文化施設の年間入館者数	目標	人	6,000	6,500	6,750	H22	6,750
	実績	人	7,070	6,029	6,589	H23	6,950
	達成率	%	117.8	92.8	97.6	H28	6,950
	ベンチマーク					-	-
参考指標① 歴史民族資料館入館者数	目標	人	2,000	2,500	2,600	H22	2,600
	実績	人	2,561	2,372	2,748	H23	2,800
	達成率	%	128.1	94.9	105.7	H28	2,800
	ベンチマーク					-	-
参考指標② 加子浦歴史文化館入館者数	目標	人	3,000	3,000	3,250	H22	3,250
	実績	人	3,509	3,012	3,159	H23	3,250
	達成率	%	117.0	100.4	97.2	H28	3,250
	ベンチマーク					-	-
参考指標③ 吉永美術館入館者数	目標	人	1,000	1,000	900	H22	900
	実績	人	1,000	645	682	H23	900
	達成率	%	100.0	64.5	75.8	H28	900
	ベンチマーク					-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への 貢献度 ☆☆☆☆☆ ~ ☆	経費の 性質 義務的 経常的 その他	
				平成19年度			平成20年度			平成21年度					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数			
1	文化活動推進事業	A	備前吹奏楽フェスティバル事業	単市	136	850	0.12	109	473	0.06	109	562	0.07	☆☆☆	その他
			国民文化祭準備事業	補助				201	1,563	0.22	763	3,808	0.49	☆☆☆☆☆	その他
2	歴史民族資料館管理運営事業	C	歴史民族資料館管理運営事業	単市	8,982	770	0.11	9,049	496	0.07	12,651	334	0.04	☆☆☆	その他
3	加子浦歴史文化館管理運営事業	B	加子浦歴史文化館管理運営事業	単市	4,906	5,277	0.91	4,216	5,820	0.98	5,487	5,177	0.88	☆☆☆☆	その他
4	吉永美術館管理運営事業	D	吉永美術館管理運営事業	単市	1,046	526	0.09	808	567	0.07	648	547	0.06	☆☆	その他
					平成19年度			平成20年度			平成21年度				
					15,070	7,423	1.23	14,383	8,919	1.40	19,658	10,428	1.54		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	一人でも多くの方に文化施設を訪れてもらいたい。文化施設では歴史資料調査員の協力の下、企画展等を開催しており、館相互の連携を図っていく。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	4	国民文化祭では、陶芸の里をアピールすべく諸所準備をすすめている。中でも小中学生を対象に地域文化の継承を、一過性のイベントに留めないよう検討を重ねた。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	郷土の歴史を理解し、郷土文化を愛する気運の醸成に努める。講座開催やワークショップを実施した。	
本年度(H22年度)取組内容 (課題解決状況)		国民文化祭開催年でもあることから、陶芸に関する理解を深める企画展を開催する。	
翌年度(H23年度)取組目標		歴史文化構想などの文化関連施策について上位計画を立て、館の存廃から運営方針など検討していく。	
二次評価者コメント 役職 教育次長 氏名 竹中 史朗		22年度が国民文化祭開催年であり、準備年の取り組みは、県国際実行委員会からも高い評価を受けた。特に子ども陶芸展については、地域文化の継承のためにも翌年度以降に引き継がれるよう配慮が必要。また、文化施設については、適正配置を検討すること。	
		基本施策への 貢献度 3 中立	